

## ■ 新卒で就職して得なこと

大学を卒業してしばらくフリーター生活を送ったとする。で、何年かして就職を考える。そういう余裕があってもいいよねえ。…と思う人も多いだろうけど、「派遣切り」のニュースではっきりしてきたように、いったん正社員の道からドロップアウトすると、正社員の道に戻るのはめちゃくちゃ大変だ。よほどの技術や経験がないと面接にさえたどりつけないという現実が待っている。

新卒で入社していいことって他にもある。一番いいのは、会社がいろんなことを教えてくれるってこと。仕事のことはもちろん、マナーとか、対外的な付き合い方とかいろんなこと。少なくとも数ヶ月、親切な会社だと1年くらいかけて研修とか、必要な資格を取得するための勉強とか、いろいろ助けてくれる。

これが中途採用だとそうはいかない。即戦力で当たり前だからねえ。

「社会人経験がないならこんなこと知らんで当たり前やな」と思われるのと「その年になってこんなこともできへんのかいな」と思われるのの差は大きいよお。

## ■ 早く始めるほど有利なことってある

例えば漫画家になるなら、若いうちにデビューするってのが普通。遅くとも23、4才ではデビューしてないとつらい。年齢が高くなると出版社に持って行っても原稿をちゃんと見てもらえなかったりする。

漫画は極端な例だけど、建築デザイナーとか看護師とか学校の先生とか、公務員とか専門の学校を卒業しないと入れなかったり、資格試験に受からないといけなかったり(受験するのに年齢制限がある資格も多いよ)、若いうちに決断しないと入れない職業って実は多いのだ。学校や資格の問題がなくても、年とともにやりにくくなる職業ってのももちろんある。雑誌とかに原稿を書くライターやカメラマン、放送作家なんかもそうだね。工場で働くにしろ、レストランで働くにしろ、あるていど若いうちでないと新たに始めるのはかなりつらいことだ。つらいだけならまだいいが、採用されないっていう現実もあるだろうね。

少しでも早くから、なりたい職業、もしかしたらなれるかもしれない職業、なってもいいかなって職業をある程度考えて、それなりの準備をしていく必要がある。

そういうのが何も見つからないなら、せめてパソコンに詳しくなる、とか、本をいっぱい読むとか、何かしておかないと、とりあえずそのときできる仕事にありつくというだけの人になってしまうかよ。自己責任というやつだね。